

## 子育て支援

子育て環境が様変わりする現在、本市におきましても、育児困難感を持つ親が増加しているように見受けられます。

こうした状況を受け、11月に、市内幼稚園・保育所職員や学校関係者、民生児童委員、主任児童委員等の参加のもと、総勢110名による「児童虐待防止推進キャンペーンパレード」を県内で初めて実施し、市役所からJR境港駅前広場までの間、地域の方々に子育ての支援等と呼びかけたところでありました。

本年度から新たに実施しております「病児・病後児保育」は、11月末現在の登録児童数は22人、利用延べ人数は72人となっております。

この事業は、済生会境港総合病院に委託しており、特に、これからの風邪が流行する時季に、どうしても仕事を休めない保護者にとつて、安心してお子さんを預けられる力強い支援策となるものと考えております。

また、助産師会の方々による講話「命の大切さ伝え隊」事業は、市内の全幼稚園・保育所で、PTAと保護者会との共催により実施しました。

今後も、保護者が自らの問題として、より良い子育てを考える場が持てるよう、「ハッピー

子育て応援団」、「ハッピー赤ちゃんだっこ授業」などの先駆的な施策に加え、仲間づくりや情報提供などの支援も行っていくと考えてあります。

## 障害者福祉

障害者自立支援法が施行され、サービス体系が抜本的に見直される中で、小規模作業所（法定外施設）については、平成23年度までに法定施設へ移行する必要があるありますが、市内2カ所の障害者作業所では、関係者のご努力により「まっぼつくり作業所」が本年4月に移行でき、続いて「お菓子屋くればす」も本年度中には移行できる状況になりました。

また、本年9月から障害者の日中活動、スポーツ活動の場として「障害児・者のためのトランポリン教室」を実施しております。これはトランポリン器具を市で購入し、鳥取県トランポリン協会の協力のもと、境港市障害児（者）育成会が教室運営を行っているもので、これまでに5回開催され、参加者は皆いきいきとした笑顔で運動を楽しんでおり、大変好評であります。11月からは、市民総合ボランティアセンターとの協力体制のもと、境港総合技術高校生や市民ボランティアの参加により、さらに広がりのある事業展開を

期待しているところであります。さらに、障害者の就労支援について、障害者支援センターと連携して地元企業への訪問活動を行っており、本年度は3名を就労につなぐことができました。採用後も、ジョブコーチ（職場適応援助者）による指導や定期的な訪問を行う支援態勢をとっており、引き続き障害者就労への理解向上に取り組んでまいります。

## 議会で決まった主な議案

### 《歳出の主な内容》

■平成20年度一般会計の補正予算

#### 【人件費】

職員の育児休業や早期退職などの影響により、1,478万円余を減額。

#### 【総務費】

原油価格高騰の影響による市民バスの燃料費156万円余を増額。

#### 【民生費】

国民健康保険費特別会計への繰出金242万円、老人福祉センター浴室の給湯管改修経費339万円余、児童クラブでの障害児の受け入れに伴う指導員の加配による運営委託料95万円、措置基準単価の引き上げなどに伴う母子生活支援施設措置委託



トランポリン教室で運動の楽しむ

### 《歳入の主な内容》

歳出に伴う国・県支出金などを計上するほか、財源として繰越金を増額。

以上により歳入歳出それぞれ875万3千円を増額し、予算総額を126億4,411万5千円としました。

■平成20年度国民健康保険費特別会計の補正予算

療養給付費や共同事業拠出金などの増加により、歳入歳出それぞれ1億7,254万3千円を増額し、予算総額を40億1,856万8千円としました。

■「境港市国民健康保険条例」の一部改正

来年1月1日から、出産育児一時金の額を35万円から38万円に引き上げました。

■平成20年度下水道事業費特別会計の補正予算

職員の異動に伴う人件費のほか、受益者負担金の一括納付の増加に伴う前納報奨金の増加により、歳入歳出それぞれ121万3千円を増額し、予算総額を26億7,074万4千円としました。また、「下水道センター

改築工事委託業務」の債務負担行為について、限度額の増額補正を行いました。

中学校運動部活動の外部指導者に対する謝金20万円、竜ヶ山球場トイレ等改修事業の増加工事費109万円余などをそれぞれ増額。

#### 【土木費】

市道の維持補修費や米子空港駅へのアクセス道路整備費573万円余を増額。

#### 【教育費】

中学校運動部活動の外部指導者に対する謝金20万円、竜ヶ山球場トイレ等改修事業の増加工事費109万円余などをそれぞれ増額。